

「山県ってどんなところ？」を知ってもらいたい！
ZIP-FM岐阜山県エリアDAYと
オアシス21での観光・移住PRイベント同時開催



8月8日、名古屋市内にあるラジオ局ZIP-FMで山県市をPRするイベント「岐阜山県エリアDAY」を行いました。

ZIP-FMは、中京圏で一番聴かれているラジオで、自動車で移動することが多いこの地方の人に対して、山県市をPRするのに有効な媒体と考えています。ZIP-FMが行うエリアDAYは、丸一日、特定の地域をPRするイベントで、市町村で実施しているのは、山県市だけです。

この日も、朝5時から深夜25時まで各番組の中で、山県市の観光スポットやグルメ情報などをお届けしたり、栄からの公開生放送にあわせ

て、市をPRするパンフレットの配布をしたりしました。

また、同日、隣接するオアシス21「GIFTS PREMIUM」で、山県市の観光・移住定住促進PRを行いました。名古屋近郊ではまだまだ認知度が低い山県市ですが、ZIP-FMを聴いた人が立ち寄り、自然を満喫できる場所を探したり、歴史好きで明智光秀関係に興味をもつ人が足を止めたり、夏休みのお出掛け先の候補としてPRできました。

そして、田舎暮らしに興味がある人には個別相談を行い、後日実施される地域交流イベントなどへの参加につなげることができました。



みんなで楽しく、1、2、3！
ラジオ体操・みんなの体操会



7月27日、梅原小学校体育館で「第6回山県市ラジオ体操・みんなの体操会」を行いました。

当日はあいにくの天気でしたが、市民約160人が集まり、全国ラジオ体操連盟海地方連盟および岐阜県ラジオ体操連盟理事の鷺見明俊さん指導のもと、ラジオ体操第1、第2、みんなの体操を行いました。

また、体操が始まる前には、山県市レクリエーション協会による楽しい体力測定も行われ、みんなで楽しく体を動かし、爽やかな朝を迎えることができました。

I am MITSUHI DE
山県市PRお面完成！

8月6日、中洞地区の桔梗塚で、明智光秀ゆかりの地をPRするためのお面の完成発表会を行いました。

お面は、市内を訪れた人がただ観光するだけでなく、印象に残るよう制作されたもので、このお面を使って市内で写真を撮影し、インスタグラムに投稿することで、抽選で市の特産品が当たる山県市観光協会との共同企画となっています。

また、インスタグラムを利用してもらうことで、広く山県市が明智光秀ゆかりの地であることを知ってもらう狙いもあります。

市長は「お面の企画をとおして、歴史愛好家だけでなく、幅広い世代に山県市の魅力を知ってもらいたい」と話しました。



みやまの森で 木とふれ合う2日間



8月5日と6日の2日間、みやまの森で「みやまの森で木とふれ合う2日間」と題し、木工体験を行いました。

この事業は、岐阜県の清流の国ぎふ森林・環境税を活用したもので、当日は市民30人が参加し色鉛筆作りを行いました。

参加者は、4種類の木を使って色鉛筆を作成し、木の色、堅さなどそれぞれの木の特性を学びました。

参加した子どもは「思ったより木が堅くて、穴を開けるのが大変だった」と話していました。

避難所運営指導者養成講座 (HUG講習会)を開催



7月31日、伊自良中央公民館で、市と伊自良地区スクールサポーターズ協議会が共催で、避難所運営指導者養成講座を行いました。

講座は、清流の国ぎふ防災・減災センターコーディネーターの西田重成氏を講師に招き、防災士のボランティア協力による大規模災害を想定した避難所運営ゲームで、避難所運営の図上演習を実施しました。

参加者は、避難所運営について市民自らが避難所の運営に関わっていくことの必要性を実感するとともに、さまざまな課題があることを再認識しました。

将来を担う私たちの主張 山県市少年の主張大会



6月8日、美山中央公民館で山県市青少年育成市民会議総会および少年の主張大会が行われました。少年の主張大会では、市内の小中学校の代表12人による熱のこもった主張が行われました。選考結果は次のとおりです。

【優秀賞】池原映彩(美山中③)、中尾円香(伊自良中③)

【奨励賞】田中あおい(いわ桜小⑤)、根子姫花(大桑小⑥)、安藤麻由(伊自良南小⑥)、谷澤苺(高富中①)、野々村優菜(美山中①)、高橋智杷(伊自良中①)、大野ことは高富中②)、田中清羽(美山中②)、山崎夏(伊自良中②)、村瀬響(高富中③)

雨にも負けずたくさん採れたよ! 夏野菜収穫体験



8月23日、消費者との交流事業の一環で、コープぎふと農事組合法人桜尾生産組合、JAぎふが夏野菜収穫体験を行い、親子連れ約50人が参加しました。

参加者は、ナスやオクラ、キュウリなどを収穫しました。あいにくの天気でしたが、子どもたちは普段できない体験に目を輝かせ、収穫を楽しんでいました。

参加した子どもたちは「野菜がたくさん採れて楽しかった」と満足げに話していました。

山県の魅力をPR! FC岐阜ホームタウンデー



8月11日、長良川競技場で山県市ホームタウンデーとして、FC岐阜の試合が行われました。試合前のセレモニーでは、市長と山県市観光協会会長が両チームに山県ハヤシライスとポークカレーの詰め合わせをプレゼントしました。ハーフタイムには、高富サッカー少年団が山県市をPRする横断幕を持って会場を一周し、イベントを盛り上げました。

また、観光ブースでは山県ハヤシライスを販売したり、観光情報の発信を行ったり、山県市をPRしました。

岐北厚生病院が外国人 実習生の受け入れを報告



8月9日、岐北厚生病院が外国人技能実習制度を活用し、実習生3人を受け入れるにあたり、報告のため市長を表敬訪問しました。

実習生は、介護福祉士の資格取得と日本語の習得を目指しベトナムから来日し、今後3年間、岐北厚生病院の療養病棟で実習を行いながら学びます。

市長は「病院での実習で多くのことを学んでほしい。実習は大変だが若さで乗り切ってほしい」と語りました。



明治安田生命保険相互会社と健康増進に関する連携書を締結



8月27日、明治安田生命保険相互会社と「健康増進に関する連携協定」を締結しました。
この協定は、同社が持つ健康増進支援ノウハウと、本市の健康・保健事業の連携により、協働による活動を推進し、市民の健康増進やサービスの向上を実現することを目的とするものです。
今後は、市民の健康寿命延伸のために、健康増進に関するセミナーやイベントの開催、各種健診の受診率向上に向けた周知活動や自治体事業への参画・連携などの取り組みを積極的に行っていきます。

「人権」とは何か 人権教育講演会を開催



8月23日、美山中央公民館で松本サリン事件の第一通報者である河野義行氏を講師に招き、「報道と人権」と題した人権教育講演会を行いました。
河野氏は、松本サリン事件が起こった際に、警察から容疑者扱いをされ、スクープを狙うマスコミが事実とは違う報道を行ったことで、心身ともに疲労を強いられる生活を送られていました。
参加者は河野氏の話に熱心に耳を傾け、人権について深く考える機会となりました。

ピアノで優雅なひとときを 市役所ロビーコンサート開催



8月23日、市役所ロビーでランチタイムコンサートが行われました。
このコンサートは、花咲きホールと花咲きホールボランティアが主催したもので、出演者に河村飛鳥さん、深見優那さん、春日英里子さんを迎え、ピアノ演奏を行いました。
コンサート当日は、市民約30人がピアノを鑑賞し、お昼の優雅なひとときを楽しみました。

市無形民俗文化財調査報告書は、市内の小中学校、図書館、中央公民館、地区公民館に備えてあります。



葛原太鼓踊り(大倉神社祭例)

市重要無形民俗文化財指定
■指定日 昭和52年5月11日
■実施主体 葛原太鼓踊り保存会
■実施場所 篠座神社、大倉神社
各集落の愛宕祭、精霊送りなど

— 連載 —
山県市の
祭りとは
民俗芸能

市内には、先人が築き、大切に守ってきた伝統的な祭りや民俗芸能などの無形民俗文化財が多数継承されています。こうした地域の宝である民俗芸能や行事について、「岐阜県山県市無形民俗文化財調査報告書」から紹介します。

岡生涯学習課 TEL22,6845

12 葛原太鼓踊り
(美山地域 葛原)

概要

葛原太鼓踊りは、葛原全域の鎮守である篠座神社・大倉神社の祭礼や、各集落の愛宕祭、川送り、精霊送りなどで叩かれ、曲目は踊り拍子、十六拍子、送り拍子、渡り拍子の4曲を伝えています。踊り拍子は雨乞い拍子とも呼ばれ、この曲のみ歌を伴い、踊りの所作の時に太鼓歌が歌われます。十六拍子はテンポの早い激しい曲で、前進しつつ叩き、曲の切れ目でバチを頭上に掲げ「えやさっさ」という掛け声とともに、交差させて打ちます。いづれも整った輪を描いて左回りで進みつつ踊ります。送り拍子は行進する時の曲とされ、にぎやかなアップテンポの曲で、精霊送りなどで叩かれています。

由来
葛原の惣氏神である篠座神社は、大永2(1522)年に越前から分霊を勧請したのが始まりで、葛原の太鼓踊りもこの時にあわせて伝えられたとされています。

